

事務事業評価表 平成23年度

政策 明日につながる産業の振興
 施策 就業環境の整備
 基本事業 就業機会の確保

事業名 **緊急雇用創出事業 (市有防風林危険木調査事業)**

[0900]

| | | | | | |
|----|-------|--------|--------|----------|------|
| 部名 | 経済部 | 事業開始年度 | 平成22年度 | 実施計画事業認定 | 非対象 |
| 課名 | 農業振興課 | 事業終了年度 | 平成22年度 | 会計区分 | 一般会計 |

| 事務事業の目的と成果 | |
|------------|---|
| 対象 | <p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>保安林</p> |
| 意図 | <p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>この事業により 保安林内の危険木の状況を把握する。 この事業により 市内の雇用を創出する。</p> |
| | 手段 |
| | <p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>保安林内の危険木 (枯れ木 倒木)を調査する。</p> |

| 事業量・コスト指標の推移 | | | | | | |
|-----------------------|-----------|----|--------|--------|--------|--------|
| 区分 | | 単位 | 20年度実績 | 21年度実績 | 22年度実績 | 23年度当初 |
| 対象指標1 | 保安林面積 | ha | | | 116 | |
| 対象指標2 | | | | | | |
| 活動指標1 | 調査対象保安林面積 | ha | | | 116 | |
| 活動指標2 | | | | | | |
| 成果指標1 | 調査実施保安林面積 | ha | | | 116 | |
| 成果指標2 | 雇用者数 | 人 | | | | |
| 単位コスト指標 | | | | | | |
| 事業費計 (A) | | 千円 | 0 | 0 | 6,054 | 0 |
| 正職員人件費 (B) | | 千円 | 0 | 0 | 403 | 0 |
| | | | | | | |
| 総事業費 (A) + (B) | | 千円 | 0 | 0 | 6,457 | 0 |

| 費用内訳 | |
|------|-------------|
| 22年度 | 委託料 6,054千円 |

事業を取り巻く環境変化

| | | | |
|--------|--|-------------|---|
| 事業開始背景 | 標準伐期齢を過ぎた樹木が多数あり 倒木により人や家屋への被害を防止する必要性が生まれたため。 | 事業を取り巻く環境変化 | 周辺が都市化されたことにより 人が立ち入ることが少なかった保安林内に都市住民が訪れる機会が多くなってきた。 |
|--------|--|-------------|---|

22年度の実績による事業課の評価 (7月時点)

(1)税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか?市の役割や守備範囲にあった目的ですか?

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・根拠は?

市有防風林であるため。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか?

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・根拠は?

就業機会の創出として貢献される。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか?計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか?

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・根拠は?

新規事業のため。

(4)成果が向上する余地(可能性)は、ありますか?その理由は何ですか?

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・根拠は?

制度に従った事業のため

(5)現状の成果を落とさずにコスト(予算+所要時間)を削減する新たな方法はありませんか?(受益者負担含む)

- ある
- ない

理由・根拠は?

市の一般財源の持ち出しはない